

基本方針 5 教育の原点である家庭教育を支援します。

5 -

家庭教育学級交付金【社会教育課】



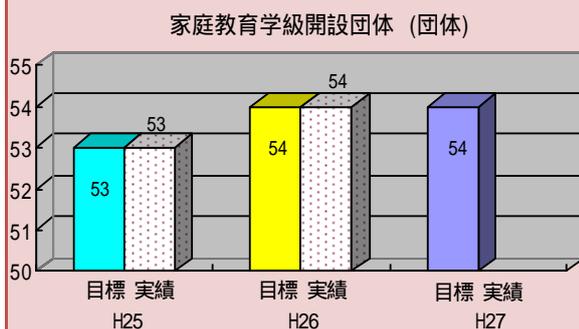
事業概要

教育の原点である家庭教育の充実を図るため、幼稚園保護者会、小・中学校PTAなどが家庭教育学級を開設できるように支援しました。

平成26年度実績

市立全小・中学校PTA36校、私立初等学校保護者会1校、保育園1園、幼稚園保護者会16園、合計54団体へ家庭教育学級を開設するための交付金を交付し、事業計画などについて相談や助言などを実施しました。

成果指標



成果と課題・今後の取組等

学級開設に当たり実施内容や講師などについて、手引きや資料集を作成するとともに適切な助言を行うことにより、より充実した事業実施が可能となりました。今後も、家庭教育の推進が図られるよう支援をしていきます。

平成26年度から参加者共通のアンケートを実施していることにより、学習した内容が家庭で子育てに役立つかどうかなどの調査結果を基に、今後もより効果的な家庭教育学級の開設を目指します。

委員からの意見

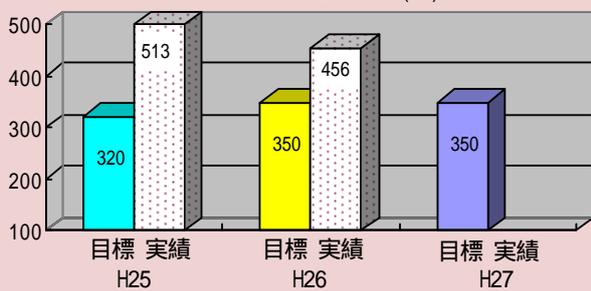
・家庭教育学級の開設に際して、内容などが記された手引きや資料集が作成され、PTAなど各団体がそのニーズにあった内容を選択できるようになり、より充実した家庭教育が推進されたと思います。家庭の在り方が多様化している昨今、家庭教育の原点は何かを見つめ直し、今後の家庭教育学級開設の指標とすることも必要だと思います。

・家庭教育は今日的に大きな課題でもあります。アンケート結果を基に学校・地域・家庭が連携した家庭教育が実施されるような事業展開を望みます。

・学校での教育と並行して、家庭での教育が重要であります。家庭教育学級を開設して、参加者のアンケートをとりながら進めており、保護者にとってはとても有意義な事業であると思います。今後も是非とも継続していくことを望みます。

家庭教育情報提供事業【社会教育課】

	事業概要
	家庭教育の必要性や重要性を理解していただくため、市民の方々を対象に講演会などを開催し、必要な情報を提供しました。
	平成26年度実績
	<p>家庭教育情報提供講演会を全3回実施</p> <p>「防災感覚を養おう」</p> <p>「こどもの安心・安全」～こどもが危険を予防する力をつけるには～</p> <p>「子どもの安心安全」～学校・家庭・地域で取り組むべき具体的な防災対策について</p> <p>(対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校PTA 幼稚園保護者会など <p>参加者合計数 456人</p>

成果指標	成果と課題・今後の取組等												
<p style="text-align: center;">講演会等参加者数 (人)</p>  <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>320</td> <td>513</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>350</td> <td>456</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>350</td> <td>350</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標	実績	H25	320	513	H26	350	456	H27	350	350	<p>それぞれの講演会の内容について、保護者会やPTAと調整を重ねることで、参加者のニーズにあった講演内容を実施することができたと考えますので、今後も、参加者が必要とする内容を実施できるように、幼稚園保護者会や小中学校PTAと要望・課題を調整しながら、事業を推進していきます。</p>
年度	目標	実績											
H25	320	513											
H26	350	456											
H27	350	350											

委員からの意見

- ・ 3回の家庭教育情報提供講演会を、保護者会やPTAと調整の上「防災」や「児童・生徒の安心・安全」に焦点を当てた内容にしてニーズに応え、目標値以上の参加者を呼ぶことができたと考えます。今後は、家庭教育の原点やより今日的な課題について情報を提供していただきたいと思えます。
- ・ 事業の趣旨に沿ったテーマで講演会を開催し、目標をはるかに超える保護者が参加しており、高く評価できます。



事業概要

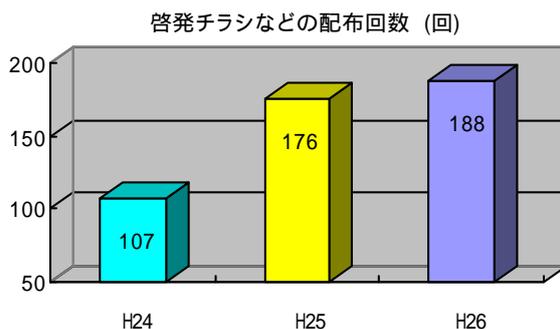
成長期の子どもの健やかな成長のために、「早寝早起き朝ごはん」の大切さを、積極的に啓発しました。

平成26年度実績

啓発用チラシなど配布 188回

(各地区公民館まつり、各小学校就学前検診・就学時説明会、各小学校区地域子ども教室ほか)

過去3年の実績



成果と課題・今後の取組等

乳幼児や小学生などの保護者を中心に啓発用チラシや物品などを配布し、効果的な啓発活動を展開しました。また、小中学校で作成される「保健だより」や公民館だよりなどで「早寝早起き朝ごはん」推進にかかる記事の掲載依頼をすることで、さらに広く保護者などへ啓発内容が浸透するよう工夫しました。

今後も、積極的に啓発対象や場所を拡大しながら推進していきます。

委員からの意見

・各地区の公民館まつりや各小学校の就学前検診・就学時説明会などの機会を捉え、地域の人や保護者に「早寝早起き朝ごはん」の大切さを啓発することができました。今後も、子どもの健やかな成長のために、積極的に取り組んでいただきたいと思います。

・効果を数値では表せない事業ですが、元気なあつぎ子を育てるために、地道ですが啓発活動を今後も展開していただきたいと思います。

・子どもの健やかな成長のためには、「早寝早起き朝ごはん」はとても大切な習慣です。人が多く集まる機会を活用して啓発しており、今後も是非とも継続していただきたいと思います。

【基本方針 5 に対する点検・評価委員からの総括的意見】

教育の原点である家庭教育を支援するため、幼稚園保護者会と小・中学校 P T A などが開催する家庭教育学級への支援、家庭教育情報を提供するための講演会、「早寝早起き朝ごはん」の啓発が実施され、成果が上がっています。各家庭の子育てへの意識は多様化してきていて、独自の教育観をもって児童・生徒に接している保護者を見受けます。今後は、家庭教育とは何かといった原点を見つめ直すための講演会や家庭教育学級を実施していく必要があると思います。

「教育の原点は家庭にある」とはいうものの、家庭教育に課題を抱えた保護者への様々な形での支援が必要かと思います。具体的には家庭教育学級や家庭教育の講演会を通して課題を抱えた保護者を巻き込んでいく取組など、地道な活動が大事になってきます。口で言うのは簡単ですが、機会を捉えて家庭教育の大切を訴えていくとともに、公民館など各機関との連携を密に子育て支援の充実を広めていく必要性を感じています。

基本方針 6 地域全体で子どもを守り、育てる機運を高め、地域社会の教育力の向上に努めます。

6 -

街頭指導活動【青少年教育相談センター】



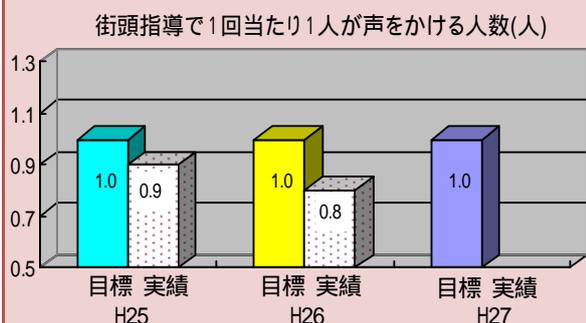
事業概要

青少年による問題行動の未然防止、早期発見・指導を行うため、青少年相談員や社会教育指導員などが、公園や繁華街などを巡回しました。

平成26年度実績

青少年による問題行動の未然防止、早期発見・指導を行うため、青少年相談員や社会教育指導員などが、年間で582回にわたり、公園や繁華街などを巡回しました。

成果指標



成果と課題・今後の取組等

社会教育指導員や夜間専門補導員が公園や繁華街などにいる青少年に積極的に声掛けを行うことで、繰り返し指導される青少年も含め、問題行動が心配される青少年との関係づくりがなされ、問題行動の早期発見だけでなく、未然防止につながっているものと考えます。

経験の少ない青少年相談員は声掛け指導の仕方が十分に身に付いていないので、今後の研修会や街頭指導の実践の中で、定着を図っていくよう努めます。

委員からの意見

・青少年相談員や社会教育指導員などにより、年間582回もの街頭指導活動が行われたことにより、問題行動の早期発見、未然防止につながっているものと思います。このような地道な活動が、子どもたちの非行の芽を摘んでいると考えられます。今後も、青少年相談員などの指導力の向上を図り、継続していただきたいと思ひます。

・青少年の問題行動を未然に防ぐために、年間582回にわたり巡回していることにより、未然防止につながっていることと思ひます。大変な労力とは思ひますが、是非とも、継続していただきたい事業です。



事業概要

青少年健全育成のため、環境浄化活動としての「心と街のクリーン作戦」や、青少年相談員が青少年の薬物乱用防止を呼び掛ける「愛の一声みちびき運動」などを実施しました。

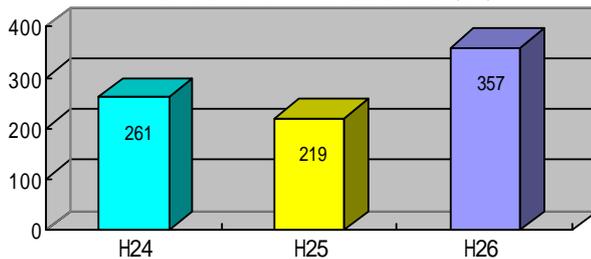
平成26年度実績

心と街のクリーン作戦参加者数 357人

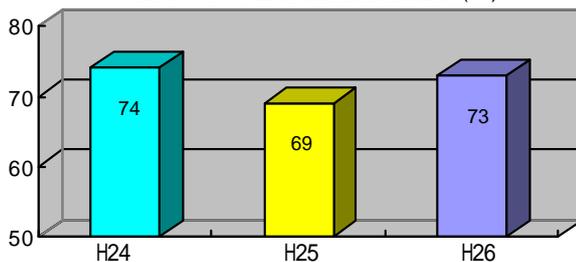
愛の一声みちびき運動参加者数 73人（15公民館）

過去3年の実績

心と街のクリーン作戦参加者数(人)



愛の一声みちびき運動参加者数(人)



成果と課題・今後の取組等

「心と街のクリーン作戦」では、世代を越えた交流の中で有意義な活動を行うことができました。平成26年度は天候にも恵まれ、全体の参加人数は例年並みとなりましたが、今後に向けて参加者への周知方法など課題の解決を図っていきます。

「愛の一声みちびき運動」では、各地区で啓発活動を展開し、地域の青少年の非行防止につながりました。今後も、啓発チラシなどの配布を工夫している地区の実践を情報交換するなどして、活動のさらなる充実を目指していきます。

委員からの意見

環境浄化活動としての「心と街のクリーン作戦」は、各世代が交流する中での活動ができ、成果が出ていると思います。「愛の一声みちびき運動」は各公民館を啓発活動の場として設定して非行防止を呼びかけましたが、参加者が少なめだったのが気になります。今後も、公民館との連携など様々な工夫をして、青少年健全育成のための活動を展開していただきたいと思います。

【基本方針 6 に対する点検・評価委員からの総括的意見】

地域全体で子どもを守り、育てる機運を高め、地域社会の教育力の向上をめざすため、青少年相談員などによる街頭指導や「心と街のクリーン作戦」など非行防止・環境浄化活動が行われ、問題行動の早期発見・未然防止や青少年の健全育成のために役立っています。繰り返し行われる地道な活動が、地域社会の教育力として機能していると感じます。今後は、地域社会の教育力の様々な側面に焦点を当てて、地域社会のもつ教育力の向上を目指して、事業を展開していただきたいと思います。

街頭指導活動、非行防止、環境浄化活動は、各団体が回数を重ね、多くの関係者が顔見知りになり活動することによって、次第に効果が上がってくるものと思います。地道な活動ですが、活動そのものが地域の抑止力になり、地域の安全が図られてくるものと考えます。青少年の未然防止のために、今後も継続していくことを希望します。

「地域全体で子どもを守り、育てる機運を高め、地域社会の教育力の向上に努めます」という基本方針は、地域社会に社会教育を実践しなければならない課題であると考えます。下線部分を実施するには、青少年教育相談センターの事業だけでは担当分野が限られているように思います。公民館などが積極的に関与してもいい事業テーマであり、幅広い多くの事業を立案し、実践すべきと思います。

基本方針7 スポーツや文化活動の振興を図り、活力ある地域づくりを推進します。

7 - 市民スポーツ活動推進事業【スポーツ政策課】



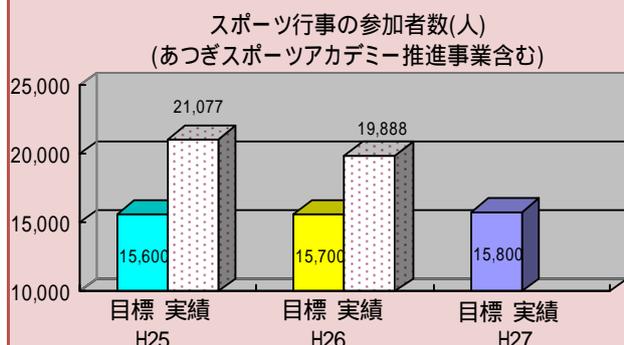
事業概要

多くの市民にスポーツに触れ合う機会を提供するため、ニュースポーツを体験するスポーツなじみDAYなどを開催しました。

平成26年度実績

スポーツなじみDAY 参加者数 715人

成果指標



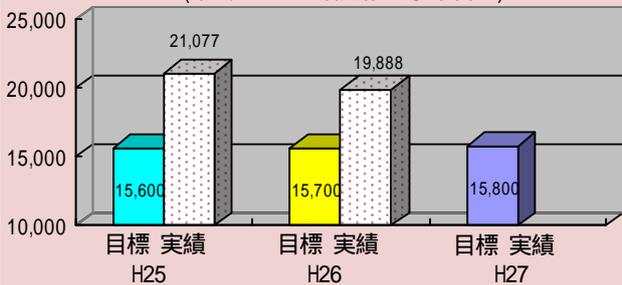
成果と課題・今後の取組等

市民ニーズを的確に捉えた事業内容を検討するとともに、事業PRに様々な手段を講じ、市民に十分浸透する事業展開を構築していきます。

委員からの意見

- ・スポーツなじみDAYの開催により、多くの市民がニュースポーツに触れることができたと思います。市民が自分の心身の状況を勘案して様々なスポーツと触れ合い、生涯楽しめるものを見つけることができるといいと思います。高齢化の進展の中で、高齢者も楽しめる「厚木のスポーツ」があるといいと思います。
- ・スポーツなじみDAYほか、多くの行事を開催し、延べ約2万人の参加を得ており、市民の健康増進に貢献していると思います。参加者数は目標を上回っているものの、昨年度より減っているので、より多くの市民が参加できるように、工夫していただくことを期待します。

	事業概要																
	(公財)厚木市体育協会が行う、あつぎスポーツアカデミー事業に補助金を交付し、生涯スポーツの普及・推進及び競技力の向上を図りました。																
	平成26年度実績																
	<table border="1"> <tr> <td>競技別市民選手権大会(25種目)</td> <td>7,515人</td> </tr> <tr> <td>スポーツ大会(8大会)</td> <td>5,833人</td> </tr> <tr> <td>元気アップスポーツフェスティバル</td> <td>385人</td> </tr> <tr> <td>あつぎウォーク</td> <td>550人</td> </tr> <tr> <td>スポーツ教室</td> <td>2,470人</td> </tr> <tr> <td>指導者養成支援事業</td> <td>649人</td> </tr> <tr> <td>スポーツ人のつどい開催</td> <td>437人</td> </tr> <tr> <td>スポーツアカデミー</td> <td>1,334人</td> </tr> </table>	競技別市民選手権大会(25種目)	7,515人	スポーツ大会(8大会)	5,833人	元気アップスポーツフェスティバル	385人	あつぎウォーク	550人	スポーツ教室	2,470人	指導者養成支援事業	649人	スポーツ人のつどい開催	437人	スポーツアカデミー	1,334人
競技別市民選手権大会(25種目)	7,515人																
スポーツ大会(8大会)	5,833人																
元気アップスポーツフェスティバル	385人																
あつぎウォーク	550人																
スポーツ教室	2,470人																
指導者養成支援事業	649人																
スポーツ人のつどい開催	437人																
スポーツアカデミー	1,334人																

成果指標	成果と課題・今後の取組等												
<p style="text-align: center;">スポーツ行事の参加者数(人) (市民スポーツ活動推進事業含む)</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>15,600</td> <td>21,077</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>15,700</td> <td>19,888</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>15,800</td> <td>15,800</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標	実績	H25	15,600	21,077	H26	15,700	19,888	H27	15,800	15,800	<p>今後も(公財)厚木市体育協会に対して交付金を交付するとともに、本市のスポーツ推進のため指導助言を行っていきます。</p> <p>また、体育協会と連携をしながらトップアスリートの育成、指導者の養成及び市民スポーツ活動の推進を図っていきます。</p>
年度	目標	実績											
H25	15,600	21,077											
H26	15,700	19,888											
H27	15,800	15,800											

委員からの意見

・市民選手権大会やスポーツ大会、スポーツ教室の開催など厚木市体育協会の事業に補助金を交付することで、生涯スポーツの普及や競技力の向上に役立っていると思います。今後は、トップアスリートの育成も必要なことですが、市民のスポーツ活動への意欲を尊重した取組の充実を期待しています。

・スポーツなじみDAYほか、多くの行事を開催し、延べ約2万人の参加を得ており、市民の健康増進に貢献していると思います。参加者数は目標を上回っているものの、昨年度より減っているので、より多くの市民が参加できるように、工夫していただくことを期待します。

スポーツ振興基金積立金【スポーツ政策課】



事業概要

スポーツの振興に役立てるため、皆様からの寄附金などを積み立てました。

平成26年度実績

寄附金 なし

平成25年度は1件（20万円）

平成24年度は1件（3万円）の寄附金

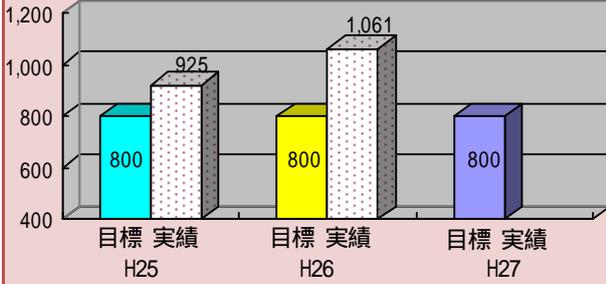
成果と課題・今後の取組等

広く一般からの寄附金の受入れができるような体制の整備が必要であるとともに、寄付者については市ホームページなどにおいて公開し、市民に広く周知を図っていきます。

委員からの意見

成果と課題・今後の取組欄に、「広く一般から寄附金の受け入れができるような体制の整備が必要である」と書かれています。昨年度も同じことが書かれており、一年間どのように対応してきたのか、疑問が残ります。

	事業概要
	地域におけるスポーツ・レクリエーションの普及・推進のため、地域のリーダーとしてふさわしいスポーツ推進委員の養成のための研修会などを行いました。
	平成26年度実績
	スポーツ推進委員会議等開催 13回(298人) 研究会・研修会 7回(248人) 市等主催事業協力 6事業(515人)

成果指標	成果と課題・今後の取組等												
<p style="text-align: center;">行事など参加推進委員延べ人数(人)</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>800</td> <td>925</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>800</td> <td>1,061</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>800</td> <td>800</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標	実績	H25	800	925	H26	800	1,061	H27	800	800	<p>市民の方が気軽に親しむことのできるニュースポーツを中心に、各種目の専門的知識を養成するための研修会などを実施します。</p> <p>また、スポーツを通して地域のネットワークやコミュニケーションの中心的存在として活動をする必要があるため、スポーツという枠を超え、必要に応じて講義・講習を進めていきます。</p>
年度	目標	実績											
H25	800	925											
H26	800	1,061											
H27	800	800											

委員からの意見

スポーツ推進委員は、地域におけるリーダーとしてスポーツの普及に尽力しており、公民館事業でのスポーツイベントなどでは欠かせない存在です。研究会・研修会の実施や会議などを通して、スポーツ推進委員としての力量を向上させることができたと思います。今後は、相互の情報交換を密にしてより充実したスポーツ活動ができるようにしていただきたいと思います。

競技団体選手強化事業交付金【スポーツ政策課】



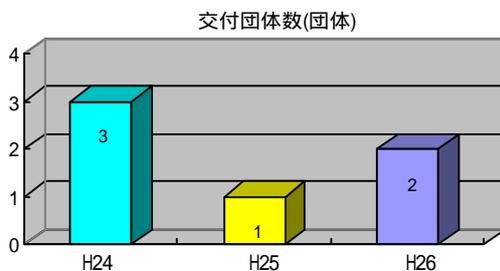
事業概要

競技力向上を図るため、競技団体が全国大会や県大会などに選手を派遣する際に実施する強化合宿及び強化練習会などの事業に対し、交付金を交付しました。

平成26年度実績

交付団体数 2団体
(県大会2団体)

過去3年の実績



成果と課題・今後の取組等

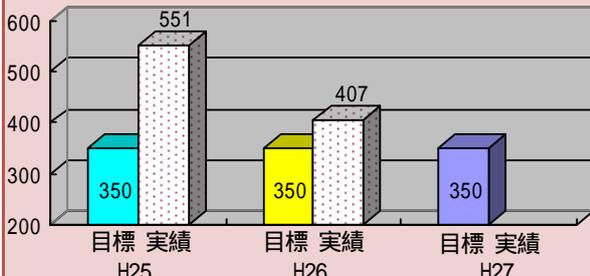
各競技協会において、事業PRするとともに、選手強化がより効果的に行えるよう事業内容について検討していきます。

委員からの意見

競技団体が大会に出場するために実施する強化合宿などに交付金を交付することで、競技団体の負担軽減を図ることができたと思います。具体的にどのように交付金が活用されたのかを把握し、趣旨に沿った交付を望みます。

全国大会等出場奨励事業【スポーツ政策課】

	事業概要
	競技力向上を図るため、国際大会、全国大会に出場する市民の方々に対し、奨励金を交付しました。
	平成26年度実績
	国際大会出場奨励金 3件（3人） 全国大会出場奨励金 143件（404人）

成果指標	成果と課題・今後の取組等												
<p style="text-align: center;">全国大会出場者数(人)</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>350</td> <td>551</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>350</td> <td>407</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>350</td> <td>350</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標	実績	H25	350	551	H26	350	407	H27	350	350	<p>全国大会等出場奨励事業については、情報収集の能力を上げるとともに、この制度の周知を十分行っていきます。</p>
年度	目標	実績											
H25	350	551											
H26	350	407											
H27	350	350											

委員からの意見

国際大会や全国大会へ出場する市民に対して奨励金が交付され、意欲付けと負担軽減につながったと思います。このような制度により、選手としての市民のモチベーションが向上し、良い成績につながる可能性もあります。多くの競技があることから、事務手続きに遺漏のないように取り扱っていただきたいと思います。

	事業概要
	<p>スポーツ・レクリエーション活動の普及を図るため、老朽化した施設などの整備を行いました。</p>
	平成26年度実績
	<ul style="list-style-type: none"> ・玉川野球場防護パッド取替え修繕及び防球ネット追加修繕を実施 ・及川球技場施設防水修繕及び3 on 3 コート防球ネット追加修繕を実施 ・下川入ターゲットバードゴルフ場水道設置修繕を実施

成果と課題・今後の取組等

スポーツ施設の利用環境向上のために、さらなる整備を実施していきます。

委員からの意見

- ・スポーツを楽しく安全に行うためには、施設や設備の整備が重要です。各施設の現状把握に努め、計画的に整備を進めていただきたいと思います。また、安全面での不備に対しては、早急な対策を講ずるとともに、確実な整備を望みます。
- ・市民が安心してスポーツを楽しめるように、老朽化した施設は、順次改修していくことが必要です。計画的に整備していくことを望みます。

7 -

青少年広場拡張事業【スポーツ政策課】



事業概要

身近な所でスポーツ活動ができるよう、青少年広場及びその周辺を整備しました。

平成26年度実績

上依知青少年広場進入路整備のための図面及び河川管理者から許可を得るために要する図面を作成しました。

成果と課題・今後の取組等

スポーツ・レクリエーション活動の普及を図るため、必要な整備を実施していきます。

委員からの意見

スポーツを楽しく安全に行うためには、施設や設備の整備が重要です。各施設の現状把握に努め、計画的に整備を進めていただきたいと思います。また、安全面での不備に対しては、早急な対策を講ずるとともに、確実な整備を望みます。

	事業概要
	スポーツ施設の計画的な整備の推進を図るため、アンケート調査及び検討組織の設置を行いました。
	平成26年度実績
	公募市民を始めとした検討委員会を組織し、スポーツ施設の在り方などを検討し、「厚木市スポーツ施設整備推進計画」を策定しました。

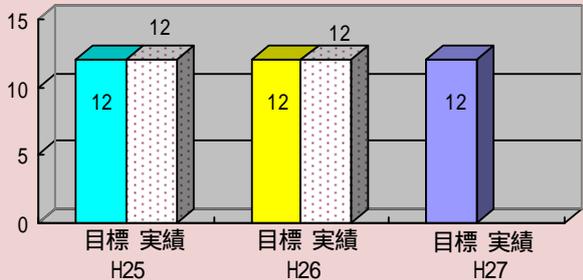
成果と課題・今後の取組等

「厚木市スポーツ施設整備推進計画」の中で、今後検討を要するものなどについて、引き続き協議を行うとともに、計画的な施設の維持、整備を行っていきます。

委員からの意見

- ・スポーツを楽しく安全に行うためには、施設や設備の整備が重要です。各施設の現状把握に努め、計画的に整備を進めていただきたいと思います。また、安全面での不備に対しては、早急な対策を講ずるとともに、確実な整備を望みます。
- ・公募市民を取り込んだ委員会で、スポーツ施設の整備を検討することは、非常に良いことだと思います。予算を有効に活用するためにも、多くの市民の意見に耳を傾けていただくことを期待します。

 <p>『厚木市史たより』第11号 平成26年10月1日 発行所：厚木市史編集委員会（〒243-0292 厚木市大宮1-1-1）</p> <p>1 表紙：『厚木市史たより』第11号の表紙。表紙のイラストは、江戸時代末期の厚木市大宮地区の町並りを描いたものである。このイラストは、厚木市史編集委員会が収集した資料に基づいて制作されたものである。</p> <p>2 目次：『厚木市史たより』第11号の目次。この号には、『厚木市史』民俗編(1)生活記録集をよむ』の開催報告や、『厚木市史』本編12巻の発行に関するお知らせなどが掲載されている。</p> <p>3 編集後記：『厚木市史たより』第11号の編集後記。この号の編集にあたっては、厚木市史編集委員会委員の協力により、多くの貴重な資料を収集することができた。今後も、厚木市の歴史を伝えるために、引き続き努力してまいります。</p>	<h3 style="text-align: center;">事業概要</h3> <p>本市の歴史的変遷を後世に継承するため、歴史資料の調査、収集、分類及び整理を行い、「厚木市史」などを発刊しました。</p> <h3 style="text-align: center;">平成26年度実績</h3> <ul style="list-style-type: none"> 『厚木市史たより』11・12号の発行 A3二つ折、各1,500部 市史歴史講演会「『厚木市史』民俗編(1)生活記録集をよむ」の開催(7/21、参加者70人) 講座「市史をよむ」の開催(7/5・8/2・8/31、参加者延べ85人)
--	--

成果指標	成果と課題・今後の取組等												
<h3 style="text-align: center;">市史発刊数(冊)</h3>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標	実績	H25	12	12	H26	12	12	H27	12	12	<p>これまでに『厚木市史』の本編12巻、『厚木市史資料叢書』1～11、『厚木市史たより』1～12号などを発刊することができました。今後は、市史編集委員会委員などによる執筆体制の充実を図り、着実に発刊をする努力をします。</p> <p>また、多くの方に事業を知っていただくため、歴史講演会や「市史をよむ」講座の開催のほか、『厚木市史たより』の発行を継続して実施します。</p>
年度	目標	実績											
H25	12	12											
H26	12	12											
H27	12	12											

委員からの意見

厚木市の歴史について、史料の調査や収集、整理を行い、「厚木市史」として発刊しており、厚木市の足跡を残す上で、貴重なものとなっています。市史の編さんだけでなく、活用しての事業が実施され、多くの市民へ周知が図られています。今後も、市史の編さんを継続するとともに、市史を活用した歴史講演会などの計画的な実施に期待しています。

事業概要

厚木市の誇るべき伝統芸能を後世に継承するため、児童・生徒を始め市民の方々が鑑賞できる機会を数多く設けます。また、後継者育成のため体験教室や郷土芸能学校を開設しました。



平成26年度実績

郷土芸能公演鑑賞者数	9,384人
・郷土芸能まつり	鑑賞者数 900人
・郷土芸能普及公演	鑑賞者数 3,093人
・郷土芸能出前体験教室	体験者数 667人
・郷土芸能学校	体験者数 154人
・郷土芸能イベント等	鑑賞者数 4,570人
郷土芸能学校 開催回数	40回
・相模人形芝居(林座)	開催回数 20回
・義太夫三味線	開催回数 20回

成果指標



成果と課題・今後の取組等

平成26年度は各々の郷土芸能団体が、アミューあつぎオープニングイベント、日本青年会議所の神奈川ブロック大会厚木大会、きらめくふるさと2014 かながわ民俗芸能祭への参加を果たしたほか、厚木北高校、松蔭大学、公民館3館において普及公演を開催することができました。そのため、本市の貴重な伝統芸能を市内外に広く知らしめることができ、目標を超える9,384人の方々に鑑賞や体験をしていただくことができました。

平成27年度も昨年度以上に鑑賞の機会を提供するため、幼稚園・小・中・高等学校・大学のほか公民館など各方面へ協力を依頼し、郷土に伝わる伝統芸能の保存・普及に努めます。

また、郷土芸能学校については、「相模人形芝居長谷座」による学校を新たに開校し、後継者育成に資するよう一層の工夫をして充実した講座にするよう努めます。

委員からの意見

・郷土芸能まつりや郷土芸能普及公演、体験教室などを通して、厚木市の誇る郷土芸能を多くの市民が鑑賞する機会を持つことができました。また、郷土芸能学校を開設し、後継者の育成につなげています。今後は、小・中学校や公民館などとの連携協力関係を強固にし、郷土芸能のよさを一層広めていただきたいと思います。

・多くの市民が厚木市の郷土芸能を鑑賞できるように、多くの機会を設けています。延べ鑑賞者数は9千人を超えており、目標が達成されています。また、後継者の育成にも成果が得られています。保存・普及のためにも継続していただきたい事業です。

(仮称) 収蔵資料館建設事業【文化財保護課】

	事業概要
	郷土文化の新たな活動拠点、文化財資料の収蔵などの機能を担う施設として、(仮称)収蔵資料館の建設を進めました。
	平成26年度実績
	(仮称)収蔵資料館の基本構想策定へ向け、庁内検討会を開催、基本方針(案)を作成し、パブリックコメントを実施しました。

成果と課題・今後の取組等

(仮称)収蔵資料館建設事業を進めるため、市民参加手続きに基づく(仮称)収蔵資料館検討委員会において検討を進めるとともに、パブリックコメントを実施しました。今後は、検討結果を参考に(仮称)収蔵資料館の計画を進めていきます。

委員からの意見

- ・収蔵資料館の建設に向けて準備段階ではありますが、是非とも、立派な資料館にしていただくことを望みます。
- ・郷土資料館は貴重な資料と知識の宝庫ですので、将来の収蔵資料館は、単なる施設ではなく、情報を発信し続ける郷土資料や郷土研究の拠点となっていきたいと考えます。

【基本方針7に対する点検・評価委員からの総括的意見】

スポーツでは、様々なスポーツに触れ合う機会を増やす事業や地域のリーダーとしてのスポーツ推進委員の養成、体育協会が行うスポーツアカデミー事業などへの補助金や交付金の交付、施設の整備などが行われ、本市のスポーツの振興に役立ったと思います。また、文化活動では、市史の編さんとそれを活用しての事業や郷土芸能を伝え広めるための事業が行われ、厚木の歴史について理解や郷土芸能の保存・普及など文化の振興に寄与したと思います。スポーツや文化活動が市民にとって、楽しく充実したものになるよう事業を展開し、活力ある地域づくりを推進していただきたいと思います。

基本方針 8 人間尊重の精神を基盤とした人権教育の充実を図ります。

8 -

人権教育・啓発推進事業【社会教育課】



事業概要

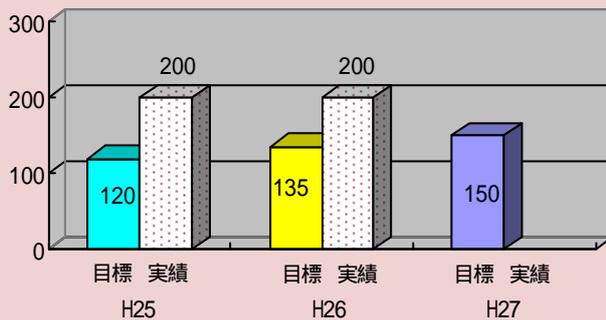
市民の方々に、人権に対する意識をより高めていただくため、ヒューマンカレッジ（人権講座）などを開催するとともに、人権について積極的に啓発しました。

平成26年度実績

ヒューマンカレッジ（人権講座）参加者数 193人
 第1回「メディア・リテラシーってなんだろう？」
 第2回「大丈夫！？今どきの子どもたちのコミュニケーション」デートDVの現状から
 第3回「あつぎヒューマンライツフェスタ」

成果指標

人権講座参加者数（人）



成果と課題・今後の取組等

第3回目をヒューマンライツフェスタと同時開催で実施し、中学生人権作文の優秀作品朗読や身近な人権に関する講演会など、人権に対する理解を深めることができた内容であったと考えます。

今後も、よりニーズに合い、現状に即した人権問題について、参加しやすいテーマ設定を心掛けた講座を実施していきます。

委員からの意見

・ヒューマンカレッジ（人権講座）の開催により、市民に人権に対する意識を高めることができたと思います。今後は、日常生活の中にある人権への気付きを促す講座や子どもたちへの啓発につながる内容が充実することを望みます。

・ヒューマンカレッジ（人権講座）の開催を年に3回行うことで、人権についての啓発ができたことは意義があると思います。さらに公民館行事や地域での講演会などで人権意識を磨くような活動ができるとより効果が高まるのではないかと思います。人権感覚や人権意識は数値としては表れないので、日頃から人権尊重の精神を一人一人が持つことの大切さを意識付けしていくような活動を推し進めていく必要性を感じます。例えば12月の人権週間を核として、多くの市民が興味関心を抱くようなポスターやパンフレットなどでの啓発や、小中学校との連携・公民館や全ての団体と連携しながら、誰もが人権意識を高めていけるような活動や意識付けが大事だと思います。また、ニーズに合った事業の方法・内容を工夫して継続していくことが必要だと判断します。

【基本方針 8 に対する点検・評価委員からの総括的意見】

人間尊重の精神を基盤とした人権教育の充実を図るため、ヒューマンカレッジ（人権講座）やあつぎヒューマンライツフェスタを開催し、目標を上回る参加者を得ています。その中で、中学生人権作文の優秀作品朗読などが行われ、身近な人権への意識を高めるのに役立ちました。人権意識をもって行動できるようになるには、継続的な研修が必要と思います。今後は、より身近な人権問題を取り上げるなど内容の充実を図る必要があると思います。

